

【Accopsニュースレター】 2026.7.24 製品リリースについて

2026/09/17 20:28:18

記事印刷

区分:	ACCOPS FAQ::01. お知らせ	投票:	0
ステータス:	公開 (全員)	結果:	0.00 %
言語:	ja	Last update:	2026/07/24 - 19:58:03

症状 (公開)

問題 (公開)

解決 (公開)

【 HyWorks 】

HyWorksの新しいバージョンがリリースされました。

- ・ リリース名: HyWorks v4.1 Hotfix1.2 (HF1の変更を含む累積リリース)

日本では2026年7月27日よりサポートされます。

また、十分な検証を実施の上、適用されることをお勧めいたします。

◆適用対象

このリリースは、HyWorksの以下のリリースに適用可能です。

HyWorksバージョン4.1

◆今回のリリースのハイライト

HySecureトークンベース認証 (HF1)

HyWorksはHySecureトークンベース認証をサポートするようになり、ログイン時に有効なHySecureトークンが既に提示されている場合は、Active Directoryによる再認証が不要になりました。

ネストされたグループのサポート (HF1)

HyWorks v4.1-HF1では、ネストされたグループベースの権限をサポートするために、ユーザー認証ワークフローの機能強化が導入されています。

AHMによるカスタムMACアドレス割り当てとMACアドレス保持 (HF1)

HyWorks v4.1-HF1 (Accops Hypervisor Manager Service内蔵) は、以下の機能をサポートするようになりました。

- ・ プロビジョニング時のカスタムMACアドレス割り当て
- ・ 再構成時のMACアドレスの保持

現在、Accops Hypervisor Manager (AHM)を介して追加された Hyper-V ホストでのみサポートされており、独立して追加されたスタンドアロンの Hyper-V サーバーではサポートされていません。

Nutanix API スロットリング (HF1)

HyWorks v4.1-HF1には、Nutanix Prism CentralへのAPI呼び出しをより適切に制御するための機能強化が含まれています。

Nutanix Prism Centralの最新バージョンでは、APIおよびバッチ操作の制限が適用されます。

これらの制限を超えると、プロビジョニングまたは管理操作中に機能障害が発生する可能性があります。

HyWorks v4.1-HF1では、使用率が設定されたしきい値に近づいた場合にAPI呼び出しを制御する、改良されたAPIスロットリングメカニズムが導入されています。

AUEM - HyWorks管理コンソールからのARS構成ブッシュ (HF1.2)

以前は、AUEM/ARS の設定は仮想デスクトップ内からのみ構成できましたが、HyWorks Controller v4.1-HF1.2 以降では、管理コンソールに新しい「ARS 設定」 タブが追加され、管理者は単一の中央の場所から環境全体の ARS サーバー接続を構成できるようになりました。

同一デスクトップを2回連続で割り当てる前のクールダウンバッファ時間

以前は、マスタープール内のデスクトップがユーザーによって解放されると、すぐに次の要求ユーザーに割り当てることができ、全く間隔が空くことはありませんでした。

仮想マシンが内部的なクリーンアップ処理中で、次の接続の準備ができていない場合、問題が発生する可能性があります。

これで、同じデスクトップを再割り当てする前に、クールダウン期間 (短い待機時間) を設定できるようになりました。

コントローラーログにGCId、CCId、VCIdが含まれるようになりました

以前のリリースでは、HyWorks ControllerはさまざまなIDをデスクトップエージェントに転送し、エージェントはそれらのIDを関連ログに追加してARSに送信していました。

場合によっては、管理者は追跡のためにControllerログにこれらのIDが必要な場合があります。

HyWorks v4.1-HF1.2では、以下のログにこれらのIDが付加されるようになります。

- ・ ログイン
- ・ ConnectDesktop
- ・ ConnectApp
- ・ 切断
- ・ ログアウト
- ・ バックグラウンドスレッド (アイドル状態、切断状態、ログアウト状態)
- ・ 管理者操作 (ユーザー/デスクトップ/アプリセッション)

重要な点として、IDはARSに送信されるログにのみ含まれ、HyWorks管理コンソールには表示されないため、読みやすさが損なわれることはありません。

VM Scale Booster リリースの詳細

VM Scale Boosterは、HyWorks v4.1-HF1.2とともにリリースされ、以下の機能をサポートします。

ARS構成更新フロー :

最新のVM Scale Boosterには、ARS構成変更をサポートする機能統合が搭載されています。

Scale Booster経由のDVMハートビートイベントには、以下の詳細が含まれます。

- ・ ArsConnectionSettingsChangeld
- ・ ArsCertificateSettingsChangeld
- ・ ArsModuleSettingsChangeld
- ・ DesktopFeatureSupport

下位互換性: 古いエージェントがこれらのフィールドを送信できない場合、システムはクラッシュを防ぐために、GUID に対しては null に、DesktopFeatureSupport フラグに対してはデフォルトで false (0) にフォールバックします。

ハートビート以外のイベントを HyWorks Controller に転送する:

以前のバージョンの VM Scale Booster では、イベントが HyWorks Controller のログに処理されていなかったため、切断コードやセッション イベントなどの一部のイベントが HyWorks のログに表示されず、VM Scale Booster のログが必要でした。

このバージョンの VM Scale Booster では、これらのハートビート以外のイベントが HyWorks Controller のログに転送されるようになり、単一セッションの仮想デスクトップ監視の追跡が改善されます。

HyLabsの機能と強化点ゴールドマスター名の設定と検索オプション（HF1）
HyLabs v4.1-HF1では、管理者がゴールドマスターを追加する際に、カスタムのゴールドマスター名を定義できるようになりました。
以前のバージョンでは、コネクタから取得したVM名のみを使用していました。

すべての通知を選択／選択解除（HF1）
管理者が以下の操作を迅速に行えるように、UIに改善が加えられました。

- ・すべての通知設定を選択
- ・すべての通知設定の選択を解除

以前は、通知設定を個別に構成する必要がありました。

通知機能の強化（HF1）
複数の通知機能の改善が導入されました。

予約失敗に関するメール通知に、AVDホストプール展開失敗に関する情報が含まれるようになりました。

AVDホストプールの作成/更新失敗に関する通知サポート

予約が部分的にしか動作していないデスクトップで実行状態になった場合、起動エラー通知にVMの健全性情報が含まれるようになりました。

新しいメールテンプレートのプレースホルダーが追加されました：

```
{{Problematic_VMs_Info}}
```

これは通知のカスタマイズに使用できます。

CSVインポートレコードの失敗通知機能強化（HF1）
CSVインポート中のレコードレベルのエラーに関する新しいCSV通知イベントが導入されました。
これはHyLabsポータルから設定可能です。

以前のバージョンでは以下のみがサポートされていました：

CSVインポート成功
CSVインポート失敗

確認済みのコネクタの互換性

- ・VMware vSphere v9.0

このリリースでは、VMware vSphere v9.0との互換性が確認されています。

全面的にサポートしています。

- ・Nutanixを使用したvTPM対応VMクローニング

Nutanix上でのvTPM対応VMプロビジョニングは、HyWorks v4.1-HF1で検証済みです。

その他のバグ修正

【Workspace Client】
以下のWorkspace Clientもリリースされております。
Workspace Linux Client 7.2.1.1008

- ・VDIロックアウトサポート
- ・仮想チャネルの強化
- ・機能強化
- ・バグ修正

Related Product, Service (公開)